

科目名 (英)	Technical Hairmake elements I (Technical Hairmake elements I)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	桐谷/今井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜1, 2
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現役で活躍するヘアメイクアーティストから(コレクション、TV、広告、ブライダル、サロンワーク等)ヘアの応用技術を学ぶ。スタイルの構成を理解を深めることで、より幅広いヘアスタイリングが可能となり、作品の世界観や、モデルに合わせた施術ができるようになる。舞台映えるヘアの内容にはダイナミックなシルエット、照明や動きなどを計算に入れたデザイン、足先までの全体を見据えたバランス調整等を想定しており、より一層の技術レベルの向上と場面に合わせて自分で考え、形にする力を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
幅広い応用技術を身につけ、2年間培ってきた知識技術や、デザイン力、センス、コミュニケーション能力を卒業制作発表会にて発揮する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
teamsコマシラバスに記載							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	応用ヘア技術の習得 ヘアスタイルの展開図、構成の更なる理解を深める						
2	応用ヘア技術の習得 ヘアスタイルの展開図、構成の更なる理解を深める						
3	応用ヘア技術の習得 ヘアスタイルの展開図、構成の更なる理解を深める					10	
4	ヘアスタイル模写 写真から汲み取れる情報をもとに形にする力						
5	ヘアスタイル模写 写真から汲み取れる情報をもとに形にする力						
6	中間テスト ヘア模写スタイル これまでの授業内容の理解、習得度の確認					20	
7	舞台映えるヘアスタイル応用技術の習得						
8	舞台映えるヘアスタイル応用技術の習得						
9	舞台映えるヘアスタイル応用技術の習得						
10	卒業制作発表会 導入 チーム分け 世界観をしっかり伝えることができる作品づくりについて						
11	卒業制作発表会 試作開始 多数の意見をまとめる 発表会全体の構成を理解する						
12	卒業制作発表会 場あたり 照明 演出などを考える						
13	卒業制作発表会 場あたり 照明 演出の決定 冬休み中に進行すべき作業の確認					10	
14	定期テスト 卒業制作発表会 リハーサル 当日通りの動きを確認(半数)					60	
15	定期テスト 卒業制作発表会 リハーサル 当日通りの動きを確認(半数)					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Technical Hairmake elements B (Technical Hairmake elements B)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	堤/秋本
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜1, 2 水曜3, 4 金曜3, 4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクとしてTV、雑誌、広告バックステージ、化粧品ブランドアーティストとして現役で活動している講師から各テイスト別で様々な知識や技術を修得しメイク技術を上げる事で、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業制作を着地点に設定し、基本的な技術からクリエイティブな作品作りにおいて必要な技術を修得しメイク技術を上げる事で、数あるジャンルのメイクに対応出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、鏡用雑巾、手指消毒液							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	2022awトレンドメイクを学び、技術を習得する					5	
2	2022awトレンドメイクを学び、技術を習得する						
3	クリエイティブメイク(変形アイライナー)を学び、技術を習得する						
4	クリエイティブメイク(配色)を学び、技術を習得する					5	
5	クリエイティブメイク(ボディメイク)を学び、技術を習得する						
6	クリエイティブメイク(ピグメント)を学び、技術を習得する						
7	中間テスト 時間内にフルメイクを完成させる					20	
8	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
9	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する					5	
10	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
11	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
12	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する					5	
13	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
14	卒業制作に向けて 完成を目指し、メイクスキルの向上と新しい技術を習得する						
15	定期試験 時間内にフルメイクを完成させる					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ (Professional seminarⅣ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大塚・阿部・吉田
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	1組→金曜3限 2組→金曜2限 3組→水曜3限 4組→水曜2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>学生一人ひとりの強みを学生自身が探し出し、適性に沿った進路を選択できるようになる</p> <p>※担任が社会人経験を活かし、社会人として大切な知識・一般常識・自己アピール力について指導し、第1希望企業の採用試験での内定を得られる人材育成授業を行う</p> <p>主たる講師:美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>・自己分析、面接練習、グループワークを通し、自分の強みに気付き、相手に的確に伝えることが出来るようになる</p> <p>・社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	後期スケジュール確認・卒業前目標決め						
2	社会人基礎ノート①(第一印象と色の知識)						
3	社会人基礎ノート② 敬語の復習 (尊敬語、謙譲語、丁寧語)						
4	社会人基礎ノート③ 一般常識(ことわざ)						
5	社会人基礎ノート④《カラーについて・マナー》 色の持つ力について学び、自身の印象について考え、より良く取り入れることが出来る						
6	社会人基礎ノート⑤《マナー》 接客などにあたり、快い態度・話し方・会話について学び、実践することが出来る						
7	社会人基礎ノート⑥《話題・コミュニケーション》 自身のコミュニケーションタイプを知り、自分と相手にとって心地よいコミュニケーションを考えることが出来る						中間テスト 20点
8	敬語・印象・態度などのマナー 中間テスト(20点満点)						
9	ビジネスマナー①《言葉遣い①》・お客様・上司への言葉遣いについて学び、知識を得ることが出来る						
10	ビジネスマナー②《ルール・言葉遣い》 報告、連絡、相談などの社会人として必要な知識を得ることが出来る						小テスト 10点
11	《一般常識》① ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
12	《一般常識》② ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付けることが出来る						
13	《一般常識》③ ・一般常識の知識を得て、どの世代の人にも対応できる話題力・語彙力を身に付け、応用することができる						小テスト 10点
14	1～13回目までの授業の振り返り授業						
15	定期テスト(60点満点)						定期テスト 60点
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ(BR) (Hairmake synthesis techniqueⅢ(BR))	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大井
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	奇数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く現役で活躍している講師によるブライダルヘアメイクになる為の基礎技術・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得し、創造出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ドレス・小物(ブーケ):ドレスの種類・名称・生地・付属品・ブランド・ブーケの種類・トレンドを知る						
2	模写ヘア①:指定された画像を模写創造する						
3	ブラシ・骨格修正・アイブロウデッサン:ブラシの特性を知る 骨格理論を修得する アイブロウのデッサン技術を修得する						
4	模写ヘア②:指定された画像を模写創造する						
5	中間テスト						中間テスト(20点)
6	ワントーンメイク:骨格理論を基にワントーンで立体創造する						
7	ご要望ブライダル①:指定されたヘア・メイク・ドレスを基に創造する						
8	ご要望ブライダル②:指定されたヘア・メイク・ドレスを基に創造する						
9	クイックチェンジ①:クイックチェンジ(ヘア)における技術を修得する						
10	クイックチェンジ②:クイックチェンジ(ヘア)における技術を修得する						
11	クイックチェンジ③:クイックチェンジ(ヘア・メイク)における技術を修得する						
12	クイックチェンジ④:クイックチェンジ(ヘア・メイク)における技術を修得する						
13	クイックチェンジ⑤:クイックチェンジ(ヘア・メイク・ドレス・トータルバランス)における技術を修得する						
14	クイックチェンジ⑥:クイックチェンジ(ヘア・メイク・ドレス・トータルバランス)における技術を修得する						小テスト(20点)
15	定期テスト						定期テスト(60点)
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ(ED) (Hairmake synthesis techniqueⅢ ED)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	マキア
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	奇数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
本科目を受け持つ講師は全員アイリストとしてサロンワーク・講師としてのスタッフ育成・教員を務めた経験を有しており、アイリストとしての基礎知識や接客を身につけている。 アイリストとして現場で対応できる技術と接客を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
アイラッシュ知識やより実践的な接客・カウンセリング技術を習得し、職人として社会に貢献することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
アイラッシュ道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	タイムカウントで相モデル(デザイン自由)80本装着を習得する						
2	相モデル(デザイン自由)カウンセリングで好みのデザインを聞いて装着する						
3	タイムカウントでカウンセリングから 相モデル(デザイン自由)80本装着を習得する						
4	小テスト(学科)・相モデル(デザイン自由)タイムを縮めて装着本数を増やす					10点	
5	タイムカウントで相モデル(デザイン自由)100本装着に慣れる						
6	タイムカウントでカウンセリングから 相モデル(デザイン自由)100本目指して装着する						
7	中間試験(学科)・相モデル(デザイン自由)タイムを縮めて装着本数を増やす					20点	
8	タイムカウントでカウンセリングから 相モデル(デザイン自由)100本装着を習得する						
9	タイムカウントで相モデル(デザイン自由)120本装着に慣れる						
10	タイムカウントでカウンセリングから 相モデル(デザイン自由)120本を目指して装着する						
11	小テスト(学科)・相モデル(デザイン自由)タイムを縮めて装着本数を増やす					10点	
12	タイムカウントでカウンセリングから装着① 相モデル(デザイン自由)120本装着を習得する						
13	タイムカウントでカウンセリングから装着② 相モデル(デザイン自由)120本装着を習得する						
14	タイムカウントでカウンセリングから装着③ 相モデル(デザイン自由)120本装着を習得する						
15	期末試験 相モデルでオフ無し120本をタイム内に収める					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ(HMA) (Hairmake synthesis techniqueⅢ(HMA))	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	桐谷
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	偶数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
コレクション(パリ、ミラノ、ニューヨーク、ロンドン)等のヘアメイク、TV((タレント等)、広告、ブライダル、サロンワーク等、多方面な分野でのキャリアを積んだ講師が実務経験をを活かし、現場に対応できる技術を学ぶ事が出来る。様々なバリエーションのヘアメイクを習得する事ができ、クリエイティブなデザインや技術を学ぶ事で将来の仕事のキャパシティを広げる事を目的とし、スチールやコンテストを通じて、自分の作品の表現力を養う事ができる。							
【授業を通じての到達目標】							
クリエイティブな作品作りを目的として、基礎技術の追求と習得を目指す。創造力を養い、実現化する事で技術の向上とクリエイティブな作品が作れる様になる。スチール撮影や卒業制作を通して、学んだ技術の再確認をすると共に納得のいく作品を仕上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	撮影に向けて						
2	am /メイク☆ pm/撮影知識導入						
3	撮影に向けて						
4	セルフ撮影						
5	作品作り						
6	作品作り					10点	
7	中間テスト						
8	中間テスト／					20点	
9	ベルコン					10点	
10	スチール練習						
11	スチール						
12	スチール練習						
13	スチール						
14	スチール撮影					60点	
15	スチールフィードバック						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ(HMB, HMC) (Hairmake synthesis techniqueⅢ HMB,HMC)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	東村	
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期	
							曜日・時間	HMB: 奇数週 火曜1-4 HMC: 偶数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
<p>●就職に向け、授業環境も含め社会人としての自覚を持てる実習を行う。 ●卒業、就職を前にし改めて基礎を振り返り、何となく出来るではなく、ちゃんと出来る所まで引き上げる。 ●前半は基礎スキルの向上を目指し、結果的に技術全体の底上げに繋がる事を知る。 ●後半にかけ外部モデルを積極的に呼び、撮影も交えより実践的な実習を行う。 ●撮影を想定したヘアメイクの表現と見せ方を学ぶ。</p>								
【授業を通じての到達目標】								
<p>●曖昧でなく具体的なヘアメイク表現が出来るようになる。 ●現場で求められる基礎技術に磨きをかけ、苦手を無くす。 ●授業を通じ、現場で何が求められているか考え行動出来るようにする。</p>								
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】				
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(ピンタレスト等)を利用し、ジャンル別にヘアメイクビジュアルをまとめ、フォルダリングしていく。 現場アシスタントに参加し、直接モデル、タレントを担当し実地研修。				
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点		
1	[後期オリエンテーション/デモンストレーション] 前期撮影作品総評。講師によるデモンストレーション。							
2	[ビジュアルコピー/ヘアメイク]撮影を想定したビジュアルリサーチ、コピー元のヘアメイクを正確に再現							
3	[イメージヘアメイク①/メイク] イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。					小テスト5点満点		
4	[イメージヘアメイク①/ 헤어] イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。							
5	[イメージヘアメイク②/メイク] イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。					小テスト5点満点		
6	[イメージヘアメイク②/ 헤어] イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。							
7	[中間テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。					中間テスト 20点満点		
8	[中間テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。							
9	[メンズルック①/ヘアメイク] メンズモデル用意。					小テスト5点満点		
10	[メンズルック②/ヘアメイク] メンズモデル用意。							
11	[撮影リハーサル/デモ] 講師による撮影デモ					小テスト5点満点		
12	[撮影リハーサル] 定期テスト撮影に向けた、準備練習。							
13	[定期テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。					定期テスト 60点満点		
14	[定期テスト/撮影] ムードボードを作成。ヘアメイク作品撮影。学生はモデル用意。							
15	[撮影総評/ミーティング] セルフプロデュースについて							
【特記事項】				【評価について】				
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>				

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術Ⅲ(HS) (Hairmake synthesis techniqueⅢ(HS))	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	山下/吉岡
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	偶数週 火曜1-4
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
海外のサロン勤務、コレクション、ヘアショーやマガジン撮影等の経験で得た講師による色々な髪質のヘアに対する知識や技術、接客サービスを身に付ける事が出来るようになる。ウィッグや人頭でパーマ、カラー、シャンプー、ブロー等の施術を体験し1つ1つの技術に対する技術理論習得し実践でも活かせるようになる。							
【授業を通じての到達目標】							
サロンワークにスムーズに入っていけるようなマナー、基礎知識、現場で使えるような技術習得							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘア、メイク用							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	ストレートパーマの理論を習得						
2	相モデルでストレートパーマを施術する						小テスト
3	デザインカラーの理論を習得						
4	デザインカラーをウィッグでテスト						小テスト
5	デザインパーマの理論を習得						
6	デザインパーマをウィッグで施術						
7	ブリーチの基礎を習得						
8	ウィッグによるブリーチのテスト						中間テスト
9	デザインカット理論(作品作りに向けてのデザインを習得)						
10	デザインカットをウィッグで習得(ワンレングス、グラデーション、レイヤー)						
11	作品作りで制作を学ぶ(質感調整でスタイルを作り習得)						
12	作品作りで制作を学ぶ(オンカラーで色を選定する習得)						
13	作品作りで制作を学ぶ(スタイリングでイメージの表現を習得)						
14	作品作りで制作を学ぶ(メイクや装飾を施しフィニッシュワークを習得)						定期テスト
15	作品発表プレゼンの仕方を習得						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	Creative Hairmake	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷・今井・久保・堤・秋本・鈴木
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
身につけた技術・センスを基にオリジナル作品を制作する							
【授業を通じての到達目標】							
より多くのギャラリーに作品を見られる経験をすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要						テスト配点
1	【授業単元】 振り返り						
2	【到達目標】 ・前期実施した内容を振り返り、自己の課題を明確にする						
3	・課題に基づき相モデルにてヘアアレンジ・メイクを実践する ・発表本番を想定し、シミュレーションを実施する						
4							
5							
6							
7							
8							
9	【授業単元】 作品発表制作						
10	【到達目標】 課題に基づき求めるヘアアレンジとメイクが実践できる						
11							
12							
13							
14							
15	【授業単元】 作品発表						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りシートおよび指導評価により、100点満点にて評価する ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大塚・吉田・阿部・宮崎
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
後期全体の学習イメージをつけることができる 卒業後のイメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
スケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	【授業単元】 スケジュール・ルール確認 【到達目標】 スケジュールが理解できるようになる 卒業後の一般常識を理解できるようになる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について 【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる 【評価】出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施						
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ファイナンシャル研修	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉田・大塚・阿部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファイナンシャルプランナーから社会人として自立するための経済的な知識のレクチャーを受ける							
【授業を通じての到達目標】							
自らの収支に対する意識が持てるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 本講座について説明						
2	【到達目標】 事前準備						
3	【授業単元】						
4	税金・社会保険について						
5	【到達目標】 各種税金の内容について知る 各種社会保険の仕組み、内容について知る						
6	【授業単元】						
7	確定申告について						
8	【到達目標】 確定申告の種類、申告方法について知る						
9	【授業単元】 ライフプラン、生計プランについて						
10	【到達目標】 ライフプラン、生計プランの立て方を知る						
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			

科目名 (英)	特別講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉田・阿部・大塚
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	ヘアメイク科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
業界で活躍する本校卒業生の講話を受け、業界での業務内容や労働環境を理解する							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後の目標を明確にし、専門分野でのデビューがスムーズになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【授業単元】 オリエンテーション						
2	【到達目標】 特別講座についての説明 事前準備						
3							
4	【授業単元】 業界で活躍中の卒業生の講演						
5	【到達目標】 専門分野の詳しい業務内容や労働環境などを知ることができる						
6							
7	【授業単元】 卒業後の目標を立てる						
8	【到達目標】 卒業後の目標を明確し、デビューがスムーズになるようプロとしての心構えを持つことができる						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 特別講座は出席評価とする			